



笑顔とやる気いっぱいの七中 生徒自らが常に鍛え続ける七中

七中だより



第12号 中野区立第七中学校 《学校だより》

令和6年3月5日

これまでの賞賛といまの忘却

校長 上村 諭

令和2年2月末の全国一斉の臨時休業要請からのコロナ禍、行動制限から人に会うこともできず、会えたとしても短時間であり、切なさや寂しさを感じた頃のことです。皆さんは新型コロナを背景に注目されることとなった、エッセンシャルワーカー（必要不可欠な労働者）をご存じですか？

まず、エッセンシャルワーカーとして最初に思い付くのは、医療従事者です。あの頃、未知の感染症を拡大させまいとして献身的な働きに対して、尊敬や感謝のことばが多くありました。昨年に5類感染症に移行しましたが、患者の安全を確保するため、医療関係には今でも制約は多くあります。そういったなかで「5類に引き下がったのになぜ、いまだに制約があるのか」との問い合わせもあるそうです。

身近なところでは、ごみ収集員の方々です。コロナ禍での一時期、ごみ収集に対して感謝の声や手紙があったのですが、今はまったく無いようで「日常に戻っただけ」とのことでした。収集員の方は袋がほどこけたり、破れたりして散乱したごみを手で拾い集めていましたが、そのなかにはマスクなども見えました。

コロナ禍でのこれまでの賞賛と5類になったいまの忘却。それでも、エッセンシャルワーカーは変わらずに働いています。

来週には、我々が忘れず教訓にしなければならない日があります。まず、自分が自分のために、そして他者のために何ができるか、考えるきっかけとしてください。

（3月の全校集会の講話から）



校外学習・体験学習

第1学年 校外学習（都内巡り）

1月26日（金）に初めての班行動での校外学習を実施しました。昼食場所を台東区民会館としたことから浅草寺周辺が中心となりましたが、事前学習で計画したコースをもとにして都内の様々な場所を見学しました。なかには電車の乗り間違いなどで計画通りにはいかない班もありましたが、その場で判断しながら行動することができました。

事後学習やフォトコンテストのために写真を撮りながら、楽しそうに巡っている姿がありました。



第2学年 冬季移動教室（スキー教室）

2月1日（木）から3日（土）まで、長野県の湯の丸スキー場に冬季移動教室に行ってきました。初日は少し吹雪いていましたが、2日目・3日目は雲一つない青空。絶好のスキー日和となりました。

初日は悲鳴にも似た声がかだましていたゲレンデも、2日目の午後には全班リフトに乗って滑り降りてくることができ、歓声に変わっていました。夜のレクリエーションも大いに盛り上がりました。

スキーの楽しさ、自然の厳しさ、友の素晴らしさ、たくさんのことを学んだ2泊3日となりました。



D組 舞子宿泊学習

2月5日(月)からの3日間、新潟県の舞子スノーリゾートでの宿泊学習を実施しました。初日、2日目ともに雪が降る中での雪遊び体験とスキー実習となりましたが、笑顔で活動に取り組んでいました。雪遊び体験は、そり滑りや雪合戦などで楽しんでいました。また、スキー実習では、インストラクターの指導を受けて上達したことで自分の成長を感じることができ「楽しい」「もっと滑りたい」という声が聞こえました。3日目は藍染め体験で、オリジナルのハンカチを作成しました。木の板やボール、紐など使って工夫し、様々な模様をつくっていました。



D組 販売学習

2月20日(火)に販売学習を行いました。前回はベビーカステラを販売しましたが、今回はガトーショコラだけでなく、生徒から希望があったバスボムもつくることになりました。

販売前日から仕込みをし、当日の午前中は飾り付けなどの準備、そして販売となると呼び込みや接客など元気で明るいお店になりました。保護者の方や教職員だけでなく、江原小学校の高学年の児童も来校し、お客さんとなって交流することができました。商品はすべて完売、大盛況に終わることができ、生徒たちは充実した学習をすることができました。



生徒の活躍

ロボコン部

創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会

優秀賞 作品名：KM r (1年、)

わっこす (1年、)

月わっこ (2年、)

計測・制御部門 競技順位賞 第3位 KM r、審査員特別賞 わっこす

全国中学校産業教育教材振興協会会長賞 KM r

東京都教育委員会児童・生徒等表彰 2年 ロボコン部

中学校人権作文コンテスト 中野地区人権擁護委員賞 2年

読んでつなげる心のバトン2023 江古田のバトン賞 2年

東京子ども図書館賞 2年

(敬称略)